

# 令和4年度 松江市原子力防災訓練の結果について

---

令和5年2月  
松江市防災部原子力安全対策課

# 訓練の全体概要

## (1) はじめに

- 本市では、島根原子力発電所での原子力災害の発生に備えて、松江市地域防災計画（原子力災害対策編）や松江市原子力災害広域避難計画を策定しています。
- 地域防災計画等に基づき、島根原子力発電所から30km圏内の2県6市の合同により、原子力防災訓練を毎年実施しています。
- 令和4年度は、行政機関及び関係機関で行う初動対応訓練や住民参加による避難訓練等を行い、感染症対策も踏まえた本市の対応を確認・検証し、課題の抽出を行いました。

## (2) 実施日・主な訓練など

- 令和4年11月7日（月）  
〈主な訓練〉 初動対応訓練、本庁・支所災害対策本部設置運営訓練、広報活動訓練、PAZの在宅避難行動要支援者の避難誘導訓練、関係機関等への情報伝達訓練  
〈参加者数〉 市職員109名、住民58名、関係機関268名 合計435名
- 令和4年11月12日（土）  
〈主な訓練〉 UPZ住民の広域避難訓練（大野地区から飯南町、八束地区から岡山県総社市）、広報活動訓練  
〈参加者数〉 市職員69名、住民105名 合計174名

### 訓練のポイント

- ✓ 中国電力から配備された福祉車両を用いて、避難行動要支援者（以下、「要支援者」）を想定した避難誘導訓練を鹿島地区で実施。
- ✓ 市として初となる住民の自家用車による広域避難訓練を大野地区で実施。

## 2 主な訓練別の結果

### (1) 初動対応訓練・災害対策本部設置運営訓練：11月7日(月)

- 地震と原子力発電所での事故発生による複合災害を想定し、施設敷地緊急事態から全面緊急事態までの初動対応手順の確認や災害対策本部会議を開催し、国・県とテレビ会議を通じた防護措置の実施方針等の確認、国からの指示・要請事項を踏まえた市の対応方針の決定を行いました。

### (2) 広報活動訓練：11月7日(月)・12日(土)

- 12日には、市内全域を対象に緊急速報(エリア)メールを発出するとともに、さまざまな手段により広報を行いました。

広報手段：防災メール、市HP、SNS、屋内告知端末おしらせ君、屋外スピーカー、広報車、外国人向けFacebookなど

- マールでの放送や新たにデジタルサイネージなどを用いた訓練広報も行いました。

### (3) 関係機関等への情報伝達訓練：11月7日(月)

- 学校や公民館などに対して、防災行政無線やFAXにより原子力発電所で事故が発生した旨の連絡を行いました。



災害対策本部会議の様子



合同対策協議会（テレビ会議）



屋外スピーカーによる広報



消防団による車両広報

## 2 主な訓練別の結果

### (4) 在宅避難行動要支援者の避難誘導訓練：11月7日(月)

- ・ 鹿島支所において災害対策本部会議を開催し、要支援者の避難、住民への広報などの対応を確認・決定しました。
- ・ 避難に時間がかかる要支援者を想定し、市職員と地区の防災組織の方が住民宅を訪問のうえ避難可否や福祉車両等の必要な避難手段の聞き取りを行い、避難することでかえって健康リスクが高まると想定した方を福祉車両により放射線防護対策施設※（特別養護老人ホームあとむ苑）に搬送しました。

※放射性物質の除去フィルターを通した正常な空気を建物内に送風する設備を備えた建物

- ・ 中国電力が配備した福祉車両の要請や搬送手順、地区の防災組織及び中国電力との連携を確認することができました。
- ・ また、訓練に併せて、避難計画の説明や福祉車両の紹介、海上保安庁と陸上自衛隊による避難訓練を視察いただきました。

|     | 必要な支援内容の確認                       | 福祉車両による避難誘導                    |
|-----|----------------------------------|--------------------------------|
| 参加者 | 要支援者役住民（約40名）<br>地区の防災組織（4名）・市職員 | 要支援者役住民（5名）<br>地区の防災組織（6名）・市職員 |



支所災害対策本部会議の様子



福祉車両による避難誘導



船舶避難訓練の様子

## 2 主な訓練別の結果

### (5) 広域避難訓練：11月12日(土)

- 原子力災害が発生し、大野地区・八束地区に避難が指示されたとの想定で訓練を行いました。
- 参加者は、住民広報を確認したうえで、自家用車もしくはバスにより避難先へ避難しました。
- 一時集結所では、市職員が健康確認、乗車受付、安定ヨウ素剤の配布を行いました。

| 地区<br>(避難先)    | 住民数 | 一時集結所等     | 車両         | 避難退域時<br>検査会場  | 支援ポイント・<br>感染症検査会場   | 避難経由所       | 避難所              |
|----------------|-----|------------|------------|----------------|----------------------|-------------|------------------|
| 大野<br>(飯南町)    | 25名 | 大野小学校      | バス2台、搬送車1台 | 道の駅<br>たたらば壱番地 | —<br><br>中山間地域研究センター | 道の駅<br>赤来高原 | 赤名農村環境<br>改善センター |
|                | 6名  | 魚瀬世代間交流会館  | バス1台、搬送車1台 |                |                      |             |                  |
|                | 20名 | 自宅(模擬:公民館) | 自家用車10台    |                |                      |             |                  |
| 八束<br>(岡山県総社市) | 22名 | 八束支所       | バス2台・搬送車1台 | 大山パーキング<br>エリア | —                    | 総社市<br>武道館  | 総社市<br>武道館       |
|                | 11名 | 八束テニスコート   | バス1台・搬送車1台 |                |                      |             |                  |

※計画上の一時集結所は、大野地区：大野小学校、魚瀬世代間交流会館、松江総合医療専門学校  
八束地区：八束学園、八束テニスコートを指定





## 2 主な訓練別の結果

### (5) 広域避難訓練：11月12日(土)

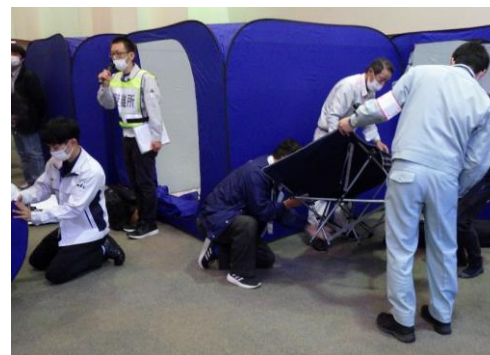
- ・ 避難の途中では避難退域時検査を行い、避難経由所では避難退域時検査済証の確認、避難車両の誘導、避難所への誘導が行われました。
- ・ 飯南町の避難所では、テントの設営、避難所生活におけるルールのお話し合いや飯南町の町勢紹介が行われました。
- ・ 総社市の避難所では、避難所生活におけるルールのお話し合い、ペットと同行避難された際の受入れ方法の紹介などが行われた後、本市と中国電力による講演を行いました。
- ・ 訓練により、広域避難計画、県が作成した感染症対策対応マニュアルや避難先自治体の受入れマニュアルに定められた手順等に問題がないか確認できました。
- ・ 一時集結所での受付に時間を要したことから、手順や資機材の見直しを行うことや、自家用車避難では降車するインターチェンジを間違ったケースがあったことから、訓練においてもより分かりやすい誘導方法とすることなどを検討してまいります。



一時集結所受付の様子



避難退域時検査済証などの確認



飯南町避難所（テント設営）



総社市避難所（運営委員会）

### 3 訓練後の取り組み

#### (1) 市報への折り込み

- ・ 訓練の実施結果をまとめた原子力広報誌を、「市報松江(令和5年2月号)」に折り込み、配布しました。
- ・ 実施結果では、各訓練項目の実施内容や写真により広報を行いました。

#### (2) 評価会議の開催

- ・ 1月19日(木)に2県6市、国や県警などの関係機関が参加する会議において訓練の振り返りを行いました。
- ・ 会議では、各県・市による結果報告や外部機関による評価結果、参加者アンケート結果が公表されました。

#### (3) 今後の方針

- ・ 来年度以降、より多くの住民が参加、経験できるよう市独自の訓練の実施を含め、訓練の実施日や実施規模の調整を行います。
- ・ 訓練から得られた成果などをもとに、市広域避難計画などの修正を行います。

#### 原子力広報 松江市

発行日: 令和5年2月1日

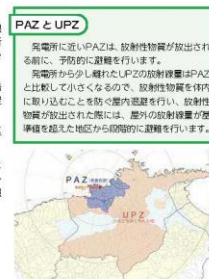
#### 令和4年度原子力防災訓練を実施しました

##### 原子力防災訓練とは

松江市では、原発原子力発電所での原子力災害の発生に備え、地域防災計画や原子力災害広域避難計画を策定しています。  
地域防災計画では、国・県・中国電力(株)などの関係機関と連携して、災害対策本部の設置運営、住民への広報、住民の避難などの訓練を定期的に実施するよう定めています。  
訓練を行い、課題や改善点を洗い出すことによって、計画の実効性を高めていきます。

##### 訓練の概要

- ・ 新型コロナウイルス感染症の流行下において、県機関係で地震が発生し、その後、県機原子力発電所で事故が発生したという想定災害を想定した訓練を行いました。
- ・ P A Z (発電所からおおむね5km圏内)のうち最悪地区において在宅の避難行動要支援者を加えた避難訓練を実施しました。
- ・ U P Z (P A Z以外の松江市全域)のうち大野地区と八束地区を対象に広域避難訓練を行いました。
- ・ 学校や公民館などへの情報伝達訓練、緊急連絡(エリファ)メール、屋外スピーカー、広報車、防災メール、SNSおよびケーブルテレビなどを使った広報活動訓練も実施しました。



##### 初動対応訓練など: 11月7日(月)

市役所に災害対策本部を設置し、テレビ会議を通じて国や県の本部との情報連絡や対応方針の確認を行いました。



災害対策本部会議

##### 在宅避難行動要支援者の避難誘導訓練: 11月7日(月)

最悪地区の訓練は、「要支援者の対応」と「不測の事態の対応」をポイントに実施しました。

- ・ 避難支所に災害対策本部を設置し、本庁からの指示事項の共有、避難行動要支援者の避難、住民への広報などの対応を会議で確認・決定しました。
- ・ 電話などで連絡がとれない避難行動要支援者を想定し、市職員と地区の防災組織が協力して、健康、生活、手帳、片手地区の住民約40人の自宅を訪問し、避難の可否や福祉車両の要否を確認しました。



最悪地区指定地区対策本部

- ・ 避難行動要支援者のうち、5人は長時間の避難を行うことかえって健康リスクが高まる状態と確認されたため、福祉車両にて、近くの放射線防護対策施設へに搬送を行いました。



福祉車両による避難者搬送

- ・ 放射線物質の除去フィルターを通した清浄な空気を建物内に導入する設備を備えた建物

- ・ 訓練では、中国電力が新たに配備した、福祉車両を用いた搬送を行いました。



自衛隊による避難者搬送訓練

##### 広報活動訓練: 11月7日(月)・12日(土)

- ・ 緊急連絡(エリファ)メール、防災メール、松江市HP、SNS、県内各報未おしらせ、屋外スピーカー、広報車、外国人向けFacebookなど、複数の情報伝達手段で訓練を実施しました。



屋外スピーカーを使用した広報活動

- ・ 市役所ロビーやイオン松江1階のデジタルサイネージなどを用いて、訓練実施の事前広報を行いました。

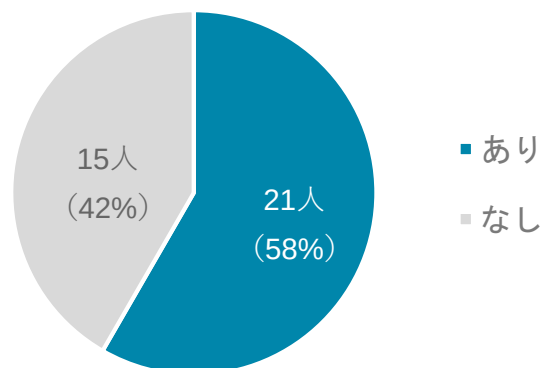
駅前広場による広報活動

令和5年2月号

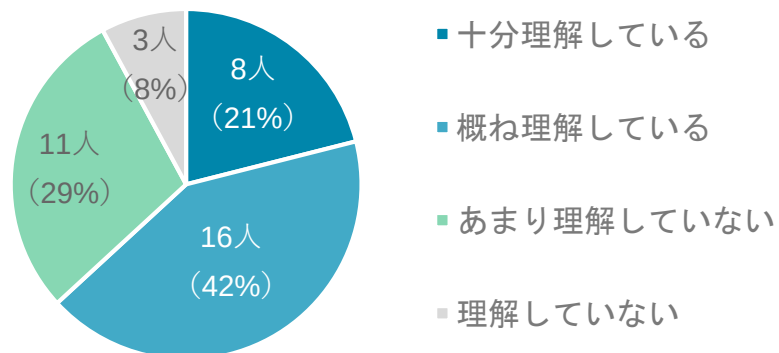
## 4 訓練参加住民へのアンケート結果

### (1) 避難行動要支援者の避難誘導訓練

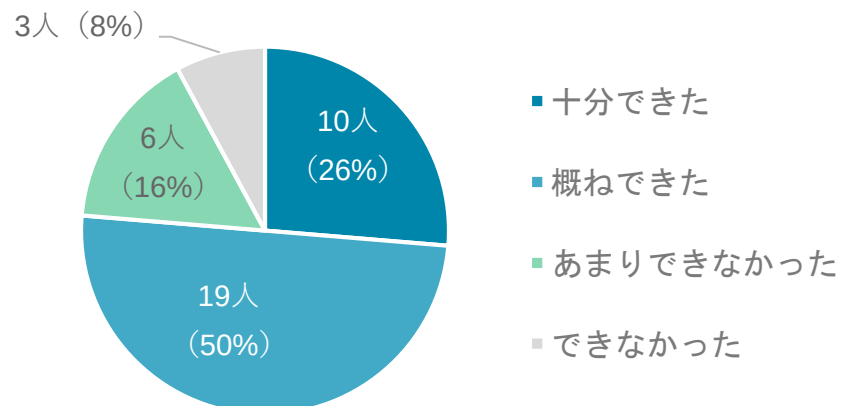
Q. これまでに松江市原子力災害広域避難計画の説明を受けましたことがありますか。



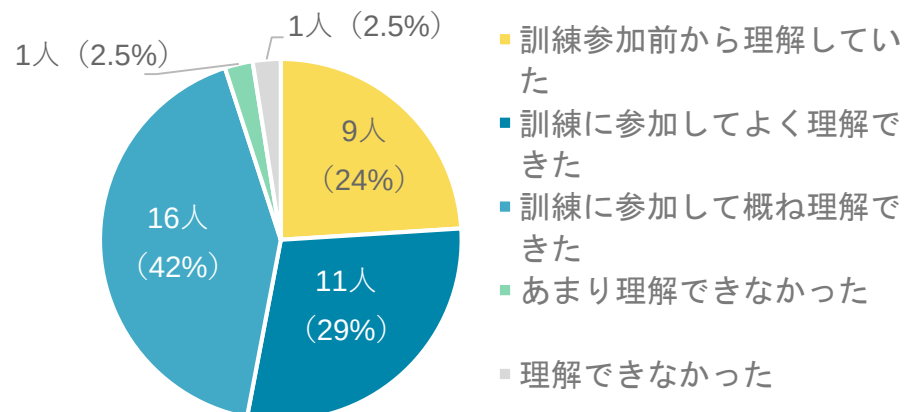
Q. 原子力発電所で事故が起きた場合、初めに避難に時間がかかる避難行動要支援者などへの避難指示が出た後、その他の住民に対して避難指示がでることをご存じでしたか。



Q. 訓練での屋外スピーカーや広報車による広報活動は聞き取りができましたか。



Q. 今回の訓練では、連絡がとれない在宅の避難行動要支援者を想定し、必要な支援内容を市職員と地区の防災組織（一部地区）が訪問の上、聞き取りする訓練を行いました。本訓練の趣旨について理解できましたか。

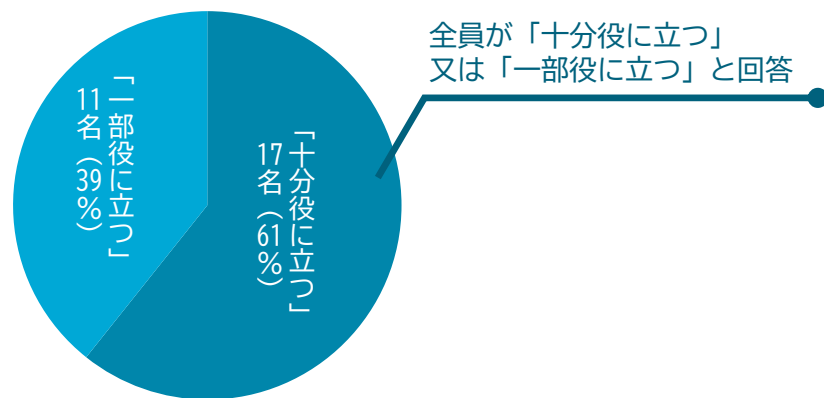




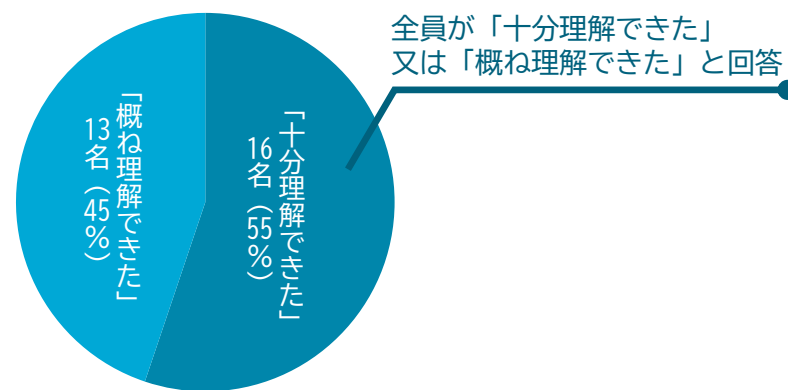
## 4 訓練参加住民へのアンケート結果

### (2) 大野地区広域避難訓練 バス

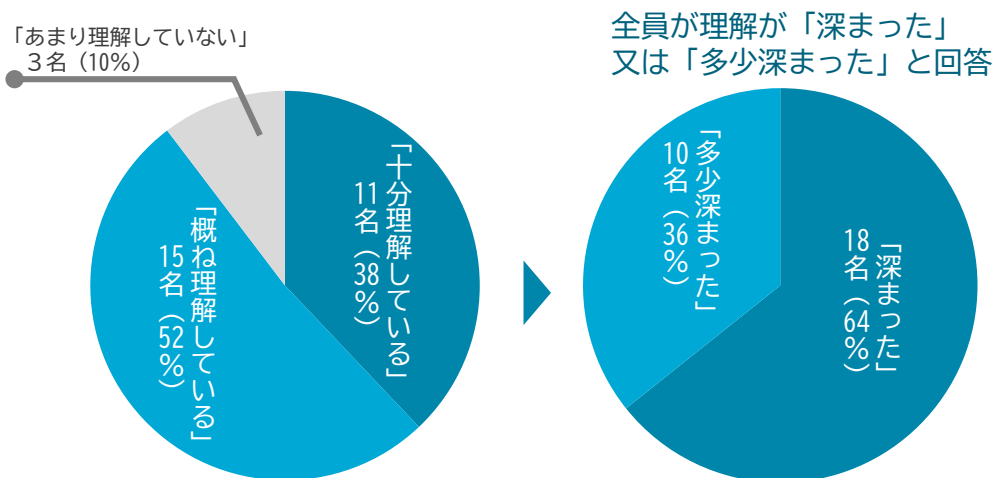
今回の訓練に参加されて、今後に役立つ内容だとお感じですか。〔〇はひとつ〕



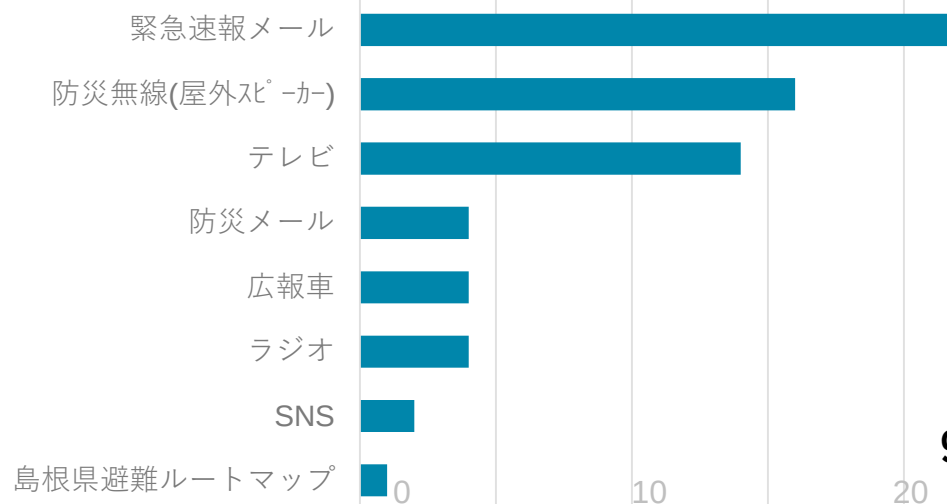
バス避難時の感染症対策（手指消毒・咳等の自覚症状等の確認、検温）を理解できましたか。〔〇はひとつ〕



原子力災害時の避難の内容・方法のご理解  
(訓練参加前後)



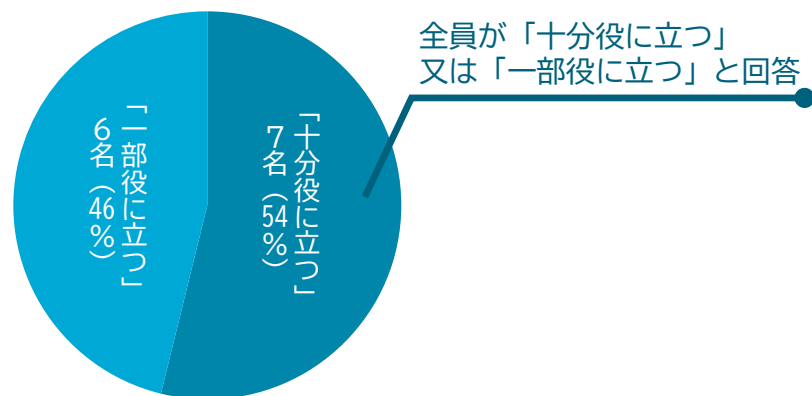
様々な手段で避難などの情報提供を行いました。これらのうち確認できたものはどれですか〔〇はいくつでも〕



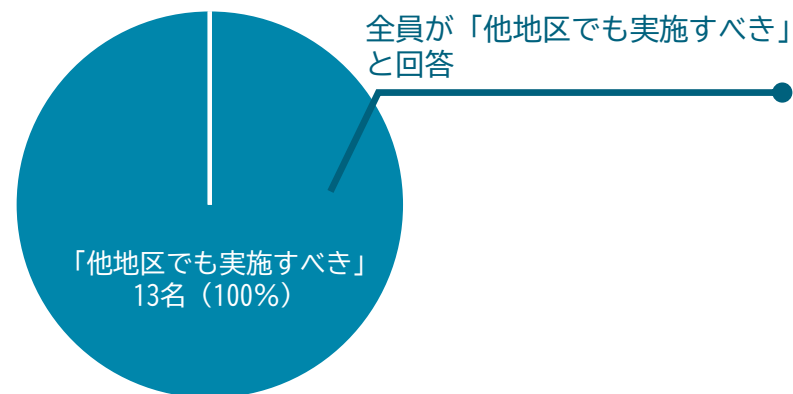
## 4 訓練参加住民へのアンケート結果

### (3) 大野地区広域避難訓練 自家用車

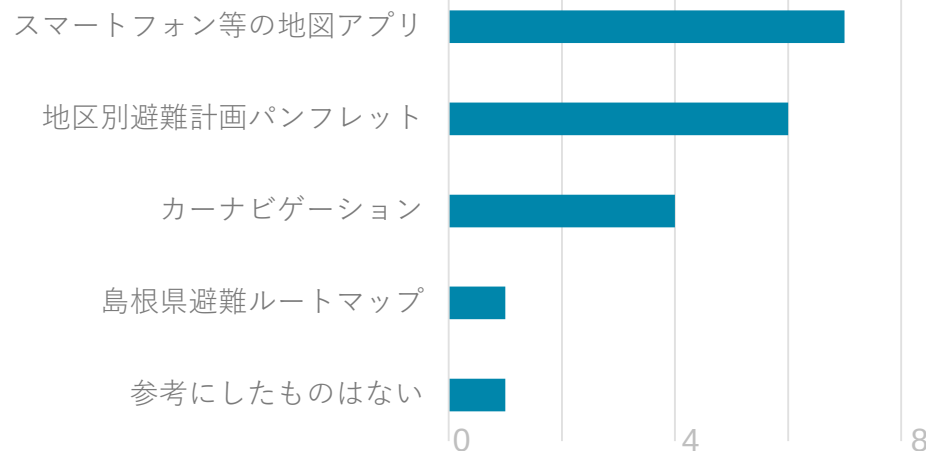
今回の訓練に参加されて、今後に役立つ内容だとお感じですか。〔〇はひとつ〕



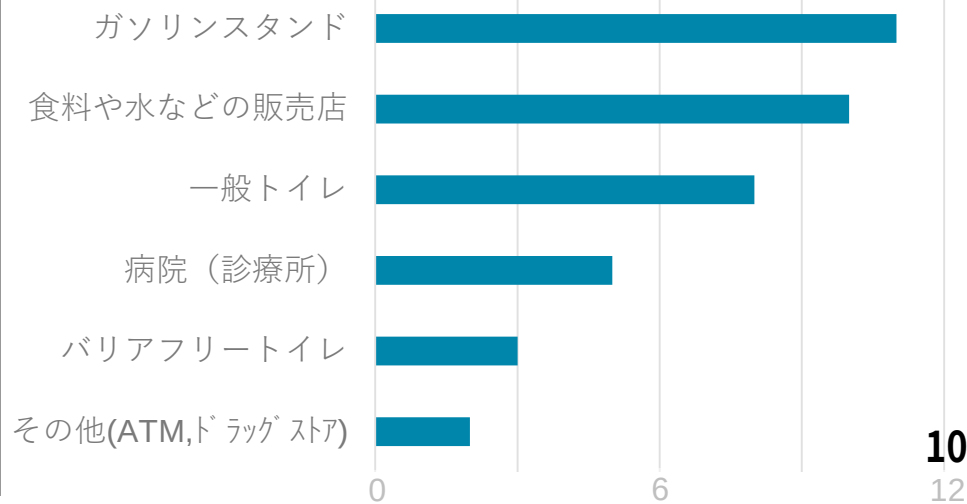
今後の他地区での自家用車による広域避難訓練の実施について。〔〇はひとつ〕



避難先に移動する際、参考になったものはなんですか。〔〇はいくつでも〕



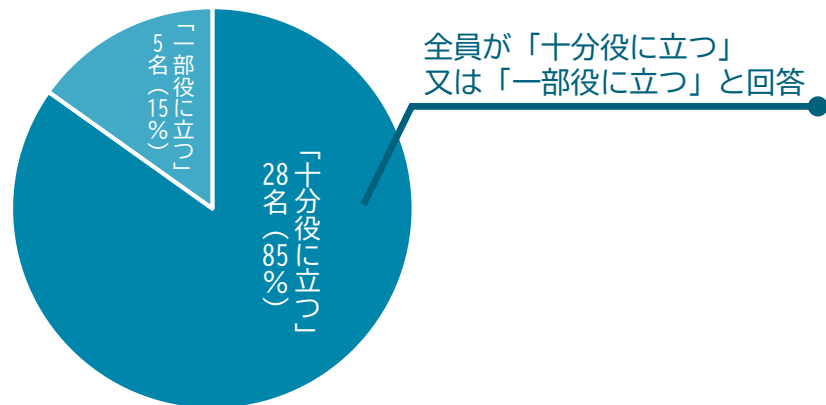
原子力災害時に自家用車で避難先へ移動することを想定した場合、どのような情報が必要だと思われますか。〔〇はいくつでも〕



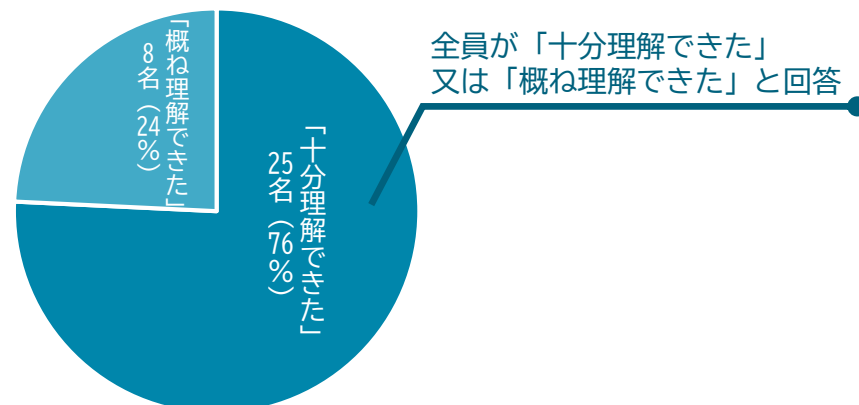
## 4 訓練参加住民へのアンケート結果

### (4) 八東地区広域避難訓練 バス

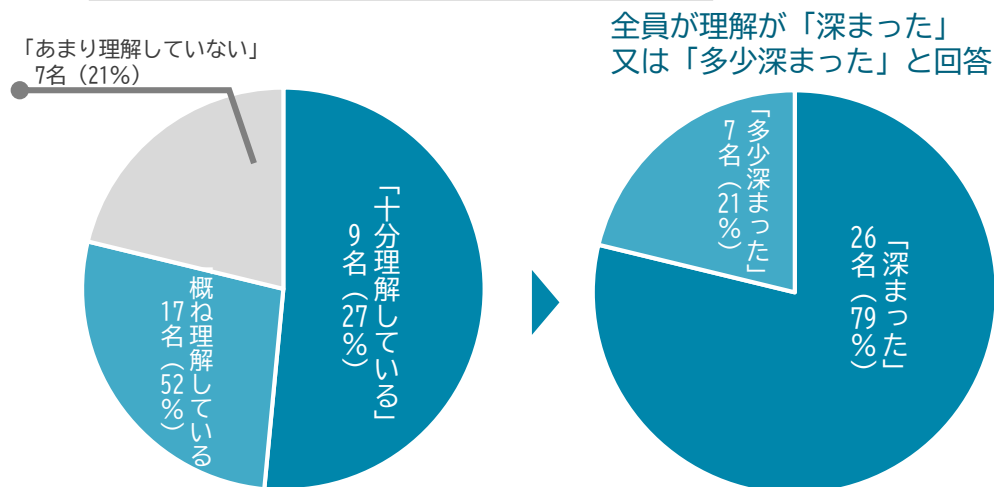
今回の訓練に参加されて、今後に役立つ内容だと  
お感じですか。〔〇はひとつ〕



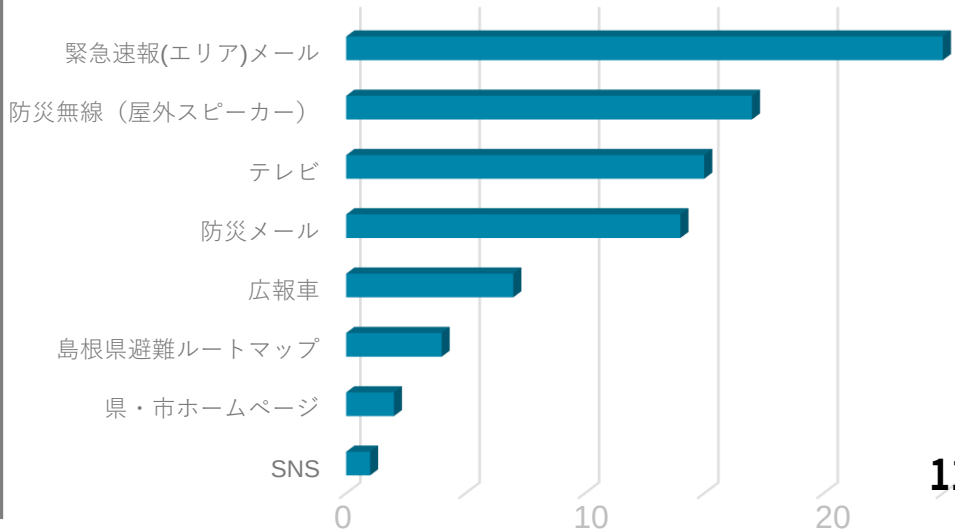
バス避難時の感染症対策（手指消毒・咳等の自覚症状等  
の確認、検温）を理解できましたか。〔〇はひとつ〕



原子力災害時の避難の内容・方法のご理解  
(訓練参加前後)



様々な手段で避難などの情報提供を行いました。これら  
のうち確認できたものはどれですか〔〇はいくつでも〕



## 4 訓練参加住民へのアンケート結果

### 参加住民へのアンケート（自由記述欄）

#### （１）在宅避年行動要支援者の避難誘導訓練

- より多くのお年寄りの方々に参加していただきたい。地区での役割を再徹底する必要性があるので、今後早いうちに検討したい。
- 何回か防災訓練に参加させて頂いていますが、思うことはシナリオに無い訓練を行い、自分の考えでどう行動するかが重要だと思います。また、一番心配なのは、訓練通り行動できるか、そのためには避難訓練を重ねる事だと思います。
- 大田市への避難時に渋滞が心配である。

#### （２）広域避難訓練

- 避難計画パンフレットの周辺案内図にGS、郵便局、ATM、コンビニなど記載してあるとよい
- 常日頃より、広報誌等において原子力防災訓練について知識を得ることが出来るが、やはり本日の訓練に参加し、体験することが実際の有事の際に役に立つと実感した次第です。今後、多くの皆さんが参加できる様、行政サイドにお願いする次第である。
- 今回は訓練だったので事前に準備等できましたが、実際に避難となった時には、行政や中電の方がたくさん出かけることは難しいと思うので、一人一人の意識が必要だと思います。他人事ではなく自分のこととして捉えられるといいなと思いました。 他地区でもこの訓練は必要だと思います。

今後の訓練、避難計画及びパンフレット改定の参考とさせていただきます。